

第2回豊川市制施行80周年記念事業市民会議 会議録要旨

○日時 令和4年11月22日（火）15時00分～16時30分

○場所 豊川市役所 本31会議室（本庁舎3階）

○議事

（1）記念キャッチフレーズ市民投票の状況について

（2）80周年記念ロゴの作成について

（3）豊川市制施行80周年記念事業の認定及び実施計画書の承認について

（4）その他

○出席者（敬称略）

（委員）

◇出席11名

長谷川 完一郎	豊川商工会議所	専務理事	◎会長
伴野 雅章	ひまわり農業協同組合	専務理事	○副会長
豊田 雅章	一宮商工会（市内商工会代表）	事務局長	
平賀 菜由美	豊川市観光協会	専務理事兼事務局長	
美馬 ゆきえ	豊川市老人クラブ連合会	会長	
石黒 環美	公益社団法人豊川文化協会	副会長	
近藤 年文	豊川市スポーツ協会	副会長	
神谷 典江	NPO法人穂の国まちづくりネットワーク	代表理事	
滝下 豊	一般社団法人豊川青年会議所	理事長	
杉浦 綾子	公募市民		
橋本 記久子	公募市民		

◇欠席 なし

（事務局）

市長、政策調整監兼企画部長、次長、企画政策課長はじめ企画政策課員4名

1 市長あいさつ

2 会長あいさつ

3 議事

（1）記念キャッチフレーズ市民投票の状況について

事務局から記念キャッチフレーズ市民投票の状況について資料に基づき説明

（会長）

事務局から記念キャッチフレーズ市民投票の状況について説明がありました。これについて、委員の皆さまからご質問やご意見をお伺いしたいと思います。

一点確認ですが、入選作品は3つに決まっており、その中からキャッチフレーズを選ぶという事でよろしいですね。

(事務局)

そうです。

(A委員)

現在の投票状況についてお聞きします。市民投票を開始してからまだ日が経っていないので分からないかもしれませんが、市民の方へ周知はされていますか。市民投票をご存知でない方もいらっしゃるのではないかと思います。

(事務局)

市民投票は毎月15日の定例記者会見の翌日からスタートしました。現在周知している段階です。アナログである紙投票とデジタルであるインターネットからの両方で受付しています。紙投票では、市役所本庁舎と4支所、プリオ窓口センターの計6カ所に投票箱を設置しています。インターネット投票ではホームページ等から投票できるようになっています。その他、郵送等でも受付しています。本日正午までの投票状況は、267件です。

また、小中学校の児童生徒全員に、投票用紙を配布して投票していただくよう小中学校へ協力をお願いしています。

(A委員)

それではお子さんがいらっしゃるご家庭では、目にする機会があるという事ですね。

(事務局)

そのように考えております。

(A委員)

期間が限られているので、大変難しいかと思いますが、この投票用の二次元コードを色々な掲示物の下に貼っておけば、かなりの数の投票が見込めるのではないかと思います。例えばJR豊川駅等に掲示してあるものに付け加える事ができれば、若者はスマホから投票してくれると思います。少しずつでも目にする機会を増やせば、80周年を迎える前に豊川市がもう80年なんだねとなるのかなと思います。少し工夫をしていただければ、短い期間でも頑張った成果があるのではないかとでしょうか。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。一点説明が漏れていました。タイミングが少しずれてしまいましたが、12月号の「広報とよかわ」に市民投票について掲載させていただきます。後半戦の9日間のみですが、入賞作品の決定と原稿締切の都合でこの時期となりました。引き続き情報発信に努めます。

(A委員)

ありがとうございます。出来るだけ頑張ってください。

(B委員)

我が子が中学2年生で投票用紙を学校から持ち帰ってきました。まだ投票はしていないようですが、私も宣伝したいと思います。

(会長)

ありがとうございます。やはりPRが大事ですので、精一杯やっていただいて、この投票を通して80周年を盛り上げていきたいと思います。よろしくお願いします。

それでは他に意見は無いようですので、この市民投票の最多得票者数をもってキャッチフレーズを決定するという事でよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

(会長)

それでは事務局で手続きを進めてください。各団体に所属している委員の方も多いと思いますので、周知にご協力をお願いします。

(2) 80周年記念ロゴの作成について

事務局から80周年記念ロゴの作成について資料に基づき説明

(会長)

事務局から4つのロゴ候補について説明がありましたが、ご質問、ご意見を委員の皆さまからお伺いしたいと思います。ロゴデザインは、まだ修正可能ですので、4つの候補から絞り込んだ上で修正していく流れとなります。

(C委員)

ロゴを見ていますと、例えばC案ですが非常に多角的に捉えていて良いとは思いますが、これをどこで使うかによって相当違うのではないかと思います。ちょっとまとまりにくいのではないのでしょうか。PRグッズで主に使うと思いますが、PRグッズはどのようなものをお考えでしょうか。

(事務局)

具体的には、議事3でご説明する実施計画書等の冊子類や市役所等に掛ける懸垂幕、記念事業の主催者側が作成するチラシ等に活用する事を想定しています。周年事業に関するもの全般に広く使っていただく予定です。

(C委員)

やはりロゴというものはパッと見て内容が分かるような、人目を引く印象深いものが良いのではないかと思います。あれもこれもと要素を入れると、どうしても印象が散漫になってしまう感じがします。

(D委員)

一般的にモノトーンとカラーの2種類作る場合があると思いますが、今伺った内容ですとカラーでの使用を想定されているようですので、この内容で良いのかなと思いました。どれになるのか楽しみです。

(会長)

ありがとうございます。色々なイベントをやっているE委員はいかがですか。

(E委員)

先ほど意見があったように、少し詰め込み過ぎな印象があります。もう少し要素を減らしてシンプルな方が分かりやすいのではないかと最初に思いました。

一つ気になったのが、キャッチフレーズに合ったデザインがあるのではないかという点です。ロゴデザインだけで投票するのかどうか分かりませんが、キャッチフレーズとセットで選んだ方が良いのではないかと思いました。

(事務局)

キャッチフレーズと一体的にデザインを決めるのがベストだと思いますが、作業工程の都合でキャッチフレーズが決まる前にロゴを作るスケジュールとなっています。このデザインの提案を受託者へ依頼する際に、3つの入選作品のうち、どのキャッチフレーズになっても皆さまに親しんでもらえるようなロゴを依頼しました。

(C委員)

80周年を強調したいのか、豊川を強調したいのか、両方を目立たせたいのか、その辺りはどのようにお考えでしょうか。

(事務局)

両方を目立たせたいと考えています。目に留めていただくために80という数字は欠かせないというのが一番ですが、そこにデザインとして加味するエッセンスとして豊川らしさを加えて作成している状況です。

(A委員)

全体としてごちゃごちゃしていて何が言いたいのか分からない感じがします。C案に至っては、8の数字がどれで表されているのかが分からないので難しいと感じます。

また、ロゴを使う場合の推奨サイズは、決めていますか。

(事務局)

使用サイズは今のところ限定していません。どのような物にも使えるようにと考えています。

(A委員)

そうすると間伸びしたような形になってもおかしいので、使用する際のサイズやルールは決めておく必要があると思います。それぞれの団体でバラバラに使用すると良くないので、ロゴの作成と同時に使用方法についても明示していただきたいと思います。他の市町村では、数字だけを分かりやすくしたロゴを作っているのので、そういった方向で考えて欲しいです。

あと一点、今の時代にこの色合いが合っていないと思います。80周年を契機に元気な豊川を思い描いて若者がやっていけるように、若者達にセンスが良いなと思ってもらえるようなものが良いと思います。プロなら何が言いたいのか分かると思いますが、このロゴは外注に出していますよね。プロなら色々なところのデザインをやっているのので、これが今の時代に合っているかどうかは分かるはずです。その辺りを踏まえて発注していただきたいです。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。推奨サイズについては、想定していないとお答えしましたが、使用にあたっての取扱要領等で定めていきたいと思っています。若者向けにというご意見をいただきましたので、色合い等の参考にしたいと思います。

(市長)

もう少しデザインに盛り込む要素を絞った方が良いのではないかと。D案の鮎が別の魚に見えます。

(A委員)

デザインに込めた想いはとてもよく分かります。豊川稲荷も、バラも、全部大事にしていて、全ての要素を平等に盛り込んでいます。それは分かりますが、ロゴに公平性は必要ないと思います。

(F委員)

豊川の農産物をイメージしながら作っていただいた事は分かりますが、バラがバラらしく見えないしトマトも真ん中に穴が空いていて、ドーナツのようにも見えます。ロゴに色々な要素を詰め込み過ぎているため、全体がボケてしまっているというのが第一印象でした。先ほど活用方法についての意見がありましたが、ロゴを広く市民に認識して

もらうためには、色々なグッズへの活用方法を考えてもらう必要があります。例えば子どもの持ち物につける缶バッジやワッペンを作って、市民全体で80周年を盛り上げていく事が大事だと思います。皆さまが仰るようにシンプルにして、豊川が80周年を迎えて頑張るぞというロゴにしていいただければありがたいです。

(事務局)

ありがとうございます。皆さまが共通して仰っている事は、詰め込み過ぎだという点です。シンプルにという意図としては、インパクトや覚えやすさ、80周年の目印になる事を重視するというご意見かと思います。そういった前提で作業を進めていきたいと思いますが、例えばこの4つの案ではどれが良いとか、ベースにするのはこの案が良いというようなご意見はありますか。

(F 委員)

全体として丸い方がロゴとして使用しやすいと感じます。

(事務局)

4案の中で言うとA案やB案が丸いロゴという事で、C案やD案のように四角いものではないという事です。

(C 委員)

C案はないですね。

(F 委員)

個人的な意見ですが、D案もロゴとして使いにくいように思います。

(会長)

本来はここでどのロゴにするのか投票してもらう予定でしたが、今までの話ではそこまで決定できない状況でありますので、委員からいただいた意見を踏まえて事務局で修正するという事で良いですか。

(事務局)

ご意見を参考にして修正します。

(B 委員)

目印のようにわかりやすੀとなると、私はA案、B案の赤い数字だけのロゴが良いと思いました。他の要素を取り除くと、キツネが飛んでいるリボンのような身体の部分が目印になって良いのではないかと思います。

(G 委員)

皆さまも色々仰っていますが、この案を最初にいただいたときに、ちょっと頭を傾げるものでした。分かりやすいというのが一番で、多くの色を使うよりも色を少なくした方が良いです。

それと80という数字がはっきり分かる事が絶対に必要だと思います。せっかく80周年なので80を強調して繰り返していかないと、みんなもピンとこない。80周年と豊川を両方盛り込みたいのは分かりますが、一目見て80周年だと分かるようにした方が良いと思います。

(H 委員)

文化協会で相談したところ、B案が良いのではという意見でした。80の中にあるキツネの顔は無くても良いと思います。

(I 委員)

提案されたロゴを修正してから最終決定するという前提で個人的な意見ですが、D案の80という数字がパッと見てすぐ分かりました。ただデザインとしては物足りなさを感じたので、A案かB案が良いと思います。この2つは80という数字の輪郭がぼやけているので、80の輪郭をはっきり分かるようにすれば、この2つの案の修正という事で良いと思います。

(会長)

ありがとうございました。色々なご意見をいただきましたので、すぐにはまとまりませんが、まずは大枠を決めるという事で考えます。C案、D案は形がバラけて良くないという事で、A案、B案をもう少し分かりやすいデザインで修正していただく方向でお願いします。

あとは委員の皆さまのお手元の用紙に、具体的な修正点のご意見を書いていただければ、それを基に事務局として検討出来ると思います。

(事務局)

いただいた意見をまとめますと、80という数字に関してはA案よりもD案の方が見やすいという点と、多くの色を使っている所以で周辺の色を減らすという点、枠をシンプルにしていくという点と考えてよろしいでしょうか。

(C 委員)

B案で良いと思いますが、80のキツネの顔を無くせばスッキリするのではないかと思います。なぜかという豊川稲荷の要素は数字の下に鳥居で十分だからです。

(事務局)

いただいた意見を踏まえて修正します。

(F 委員)

魚をたくさんモチーフにデザインしていますが、これは^{とよがわ}豊川の魚という事ですか。

(事務局)

とよかわ鮎(養殖鮎日本一)をイメージしています。観光協会が認定している「とよかわブランド」の品目を入れています。

(F 委員)

商品よりも景観、^{とよがわ}豊川の流れ等のモチーフを入れた方が良いのではないかと思います。

(A 委員)

他の自治体の周年ロゴを見て検討されていますか。

(事務局)

いくつかの事例を見て参考にしています。

(A 委員)

具体的な市町村名を挙げてその市町村の周年ロゴを参考にさせていただく事は可能ですか。大枠として皆さまが仰るB案で私も賛成ですが、この魚は何ですか?と聞かれるようなロゴでは駄目だと思います。このロゴを全部変えて欲しいですが、丸という形だけは良いと、他の自治体の周年ロゴを参考にしたいという案を書いても良いですか。

(事務局)

紙に書いていただく形でも良いですし、会議後に具体的な市町村名を教えていただく形でも良いです。

(会長)

来月20日の記者会見で発表するという事で、スケジュールがタイトですが、事務局から委員へ修正案を再度出していただくようお願いします。委員の皆さまは、お手元の紙にどれが良いか、どのように修正したら良いかを書いていただきたいと思います。

(3) 豊川市制施行80周年記念事業の認定及び実施計画書の承認について

事務局から豊川市制施行80周年記念事業の認定及び実施計画書の承認について資料に基づき説明

(会長)

これにつきまして委員の皆さまからご意見を伺いたいと思います。

(B委員)

実施計画書 8 ページの一番下にある「学校へ行こう「Go To スクール 2023」(仮称)」について意見を申し上げます。学校へ行こうという表現だと登校する事が当然という印象を受けます。学校に行かない選択もあるので、「学校を楽しもう」、「enjoy スクール」という言葉でも良いのではないかと思います。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。この事業は教育委員会が各学校と今後調整していきますので、いただいたご意見を教育委員会に伝えたいと思います。現状として、授業参観等のイベントを「学校へ行こう」という名前をつけて、保護者や地域の方々を招いて以前から行っています。過去の経緯を踏まえた検討になると思いますが、いただいたご意見の趣旨を事業課に伝えたいと思います。

(D委員)

まだ観光協会として 80 周年の冠をつけた提案をしていないので、今後提案をしたいと思います。

(会長)

商工会議所としても同じような状況です。年の途中で決まったものについては、80 周年の冠がついていませんので、事務局と相談して今後提案をしていきます。

(H委員)

実施計画書を確認し、皆さまから多くの意見をいただくと思いますが、文化協会としては、そのご意見に沿って事業を行っていききたいと思います。

(A委員)

協賛事業ごとに SDG s のゴールを選ぶ依頼を今後すると思いますが、SDG s が何かという事が一般市民に浸透していないので、ゴールを選べないのではないかと正直思っています。SDG s への意識付けをする事を念頭に置いて依頼して欲しいです。今回の 80 周年を SDG s と関連付けていきたいという事であれば、ロゴの隣に SDG s のカラーホイールを添えると良いと思います。多くの市民がこのカラーホイールの意味を分かっていないので、そういったところでも周知できるのではないかと思います。SDG s のカラーホイールは一部の人たちがバッチとして付けていますが、まだまだ内容が分かっている人は少ないと感じています。

(事務局)

ありがとうございます。まず各事業にSDGsのアイコンを付ける際に、事業を主催する団体がSDGsを知っているかという点について、事務局としては主催者側とやり取りをする事でSDGsの啓発ができる貴重な機会として、活用したいと考えています。カラーホイールの表示については、参考に検討したいと思います。

(B委員)

SDGsは行動する人を増やす事が大切だと考えます。自分が主役として行動するきっかけに80周年記念事業がなれば良いと思いました。

(C委員)

事業名を見ていくと、何をするのか興味を引いてワクワクするものがたくさんあります。例えばドローンは大変興味深い事業です。他にも多くの事業が予定されていますが、まだ内容が具体的でない事業もあるので、今後どんどん内容が具体的になってきた時に、私たちの目に留まるようにPRしてもらえると良いと思います。

老人クラブに所属していますが、老人クラブの事業よりも防災事業に興味があります。実施計画書24ページの「災害に強いまちづくり、しませんか？」という事業で防災イベントについての記載がありますが、豊川市内で行われている防災に関するイベントは正直お粗末なものです。いざ災害が起きた時に、何も役に立たない内容です。80周年を契機に、こういった事に真剣に取り組んでいただけると良いと思います。私もできれば参加してみたいと思っています。

(I委員)

冒頭の市長あいさつにあった70周年の時の84事業から102事業に増えており、非常にうれしく感じます。一つ疑問点として、この実施計画書を出した後に、他団体から80周年の協賛事業を追加したいという意向があった場合や、今後の募集についてはどのように取り扱われますか。

(事務局)

周年事業への協賛をお願いする企業の対象としては、豊川市と地方創生に関する包括連携協定を結んでいる17団体の企業に依頼をさせていただいています。他にはSDGsに先進的に取り組んでいる企業にお声がけしています。今後、そういった団体以外から協賛の提案をいただいた場合の方針について、現時点で明確なものはないですが、事務局で検討していきたいと思っています。お声がけをいただけるのはありがたい事ですので、どのように対応するかという方針を明確にしておく必要があると考えています。追加で協賛事業の提案があった場合は、事業の内容を事務局で精査するという事が基本です。

(E 委員)

豊川青年会議所では多くの事業を予定していますので、どうぞよろしくお願いいたします。一つ気になった点として、SDGsのゴールを主催者側で決めるという事について、ターゲットまで決める想定はないと思いますが、ゴールアイコンのロゴが複数パターンあるので、統一してどのロゴを使うのかという指示をしていただきたいと思います。

それと、事業名に付ける「80周年」について、例えば事業名の前に付けるのか後ろに付けるのか、統一したほうが分かりやすいと思います。そういったルールを決めていただけるとやりやすいので、教えていただきたいと思います。

(事務局)

ご意見ありがとうございました。事業をご提案いただいている各団体様とは、今後具体的な事を詰めていく必要がありますので、そういった際にルールを明確にしていきたいと思います。

(G 委員)

実施計画書を眺めると、今までやってきた事業の中にプラスして新しい事業があり、素晴らしいと思います。先ほどのキャッチフレーズ市民投票の時にも意見がありましたが、これだけの事業があるので、周知をしっかりやっていただきたいと思います。小学校中学校の運営委員として出席する事がありますが、その中で子どもたちが進んで参加できるような形を作っていただきたいと思います。先日の会議では、来年度からは部活動がすべて無くなってしまうという事で残念だけれども、来年は80周年で音楽フェスティバルや作品展があるのが分かっているので、先生たちも生徒たちも楽しみにしているという話が出ました。積極的に参加できるように広報していただけるとありがたいと思います。

(F 委員)

J Aひまわりでも80周年の冠を付けて事業を実施する予定です。SDGsに関連して、食・環境・福祉について通常の事業に付加価値を付けて取り組んでいきたいと思っています。特に実施計画書16ページのアグリフェスタ、食の問題について、これから子ども・孫世代に安全安心な食を提供するのかというところが、我々世代の責任だと思っています。地元の農産物や食品の安全性を市民にPRしながら取り組んでいきます。

(J 委員)

4つの商工会がそれぞれイベントをやっていく予定です。その地域ごとで地域の皆さまに楽しんで参加できるように計画しています。周知方法についての意見がありましたが、少しでも多くの方に来ていただけるように、喜んでもらえるように、80周年だからということだけではなく、周知する方法を今から考えていかなければと思っています。

(A委員)

この実施計画書を作るにあたり事務局が色々な団体を回って依頼をし、ご苦労されたことと思います。「資料3－1 調整中の市主催等事業及び協賛事業について」の中の民放公開番組の誘致やNHK公開番組の誘致で、それぞれどういった番組を想定されているのでしょうか。

八王子市が100周年のときに八王子ゆかりの著名人による応援団を発足していました。市長あいさつで触れられた山川豊さんが豊川豊となって豊川市をPRするという事であれば、広報大使である「渡辺いっけい」さんにも応援団に加わっていただくのはいかがでしょうか。シティセールスに繋がられるような番組の誘致をしていただかなければ、ただ番組を収録するだけでは意味がありません。豊川市が今後、シティセールスでやっていく、もっと元気な豊川市を目指していくのだという番組を収録していただきたいと思います。

(会長)

ありがとうございます。事務局に期待したいと思います。

それでは、多くの市民の皆さまが参加していただける事業を増やす事で、皆さまで盛り上げる80周年にしたいと思います。

80周年記念事業については、市民会議設置要綱第2条において、この市民会議で記念事業の認定と実施計画書の承認を行う事となっていますので、採決を行いたいと思います。案のとおり記念事業の認定及び実施計画書を承認する事としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

(会長)

異議なしと認め、案のとおり豊川市制施行80周年記念事業の認定、実施計画書の承認を行います。事務局で今後の手続きを進めてください。

(4) その他について

事務局からその他（今後のスケジュール、事務連絡等）について資料に基づき説明

(会長)

他になければ、以上でこの市民会議の会長の役目を終了させていただきます。委員の皆さまのご協力にお礼申し上げます。